心理臨床学研究科の教育研究上の目的

現代社会では、多種多様な心理的不適応現象が日常化しており、医療、福祉、教育、行政、司法、産業などあらゆる分野で、「心や行動に関する問題への援助」「心の健康の維持発展」について高度な知識と技能を持つ心理専門職への要請が強くなっています。本研究科は、人間関係学部心理臨床学科を基礎学科とし、深い人間理解と心理臨床に関する実践力を身につけた、社会に有為な公認心理師及び臨床心理士を養成することを目的としています。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

所定の期間在学して所定の単位を修得するとともに、心理臨床学の各領域において専門的な知識・技能及び臨床的な応用能力を身につけ、かつ必要な研究指導を受けたうえで、学位論文の審査および試験に合格することを修了認定と学位授与の要件とする。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

研究科の目的に沿って、現場に役立つ心理専門職を養成するために、公認心理師及び臨床心理士の２資格に対応した、以下の方針でカリキュラムを編成する。

1．1年次には、「臨床心理面接特論」「臨床心理査定演習」を中心に、心理学研究法・心理統計法、発達心理学・教育心理学、社会心理学・犯罪心理学、精神医学・心身医学、心理療法などの各領域を学修する。加えて、「臨床心理基礎実習」ではロールプレイや試行カウンセリングを通して、「臨床心理実習」では内部実習と外部実習の一部を開始して、臨床基礎能力を修得する。さらに、指導教員のもとで修士論文作成に向けた研究計画を立てて、研究を遂行する。

2．2年次には、１年次での学修を生かして、教員の指導を受けつつ学内の心理相談センター・発達支援センターでの内部実習で実際にケースを担当する。並行して、学外の複数領域の臨床現場で実習経験を積む。さらに、研究計画に沿って修士論文をまとめ、発表することを通して、心の問題を実証的に検証する態度及び方法論を身につける。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

研究科の目的に沿って、以下のような学生を求めます。

1．心理学・臨床心理学の基礎的知識を持ち、心理学統計や研究法など、臨床心理学の研究に必要となる基礎学力を有している。自らの研究テーマに関する研究動向を把握できるレベルの基礎的な英語力を備えている。

2．人間の心や心の問題に対する、深く幅広い興味関心と洞察力を持ち、それを実証的に解明しようとする意欲がある。

3．臨床実践の基礎となる、柔軟で安定した対人関係能力と高い倫理観を持っている。

公認心理師受験資格（※）に関する留意点

公認心理師受験資格には本研究科での学修に加えて、指定された科目を大学で修得していることが必要です。本研究科の入学資格および入学試験においては、大学における公認心理師受験資格に必要な指定された科目を修得しているかは審査しませんので、出願者自身の責任において大学で必要な科目を修得しているかを必ず確認してください。大学で必要な科目を修得しているかは、在籍（卒業）大学に問い合わせてください。本研究科入学前の学修歴によって公認心理師受験資格が不認定となる場合、本研究科は一切の責任を負いません。なお、臨床心理士資格は大学における修得科目に関係なく、従来どおり本研究科の修了により資格試験を受験することができます。

（※）公認心理師法付則第二条第三項：施行日前に学校教育法に基づく大学に入学し、かつ、心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定めるものを修めて卒業した者その他その者に準ずるものとして文部科学省令・厚生労働省令で定める者であって、施行日以後に同法に基づく大学院において第七条第一号の文部科学省令・厚生労働省令で定める科目を修めてその課程を修了したもの。

カリキュラム（公認心理師及び臨床心理士の２資格に対応）

現場に役立つ高度専門職業人の養成という観点から、医療・福祉・教育等の各領域における心理士としての職務に十分耐えうる知識と技能の習得とともに、それぞれの領域を超えてさまざまな心の問題に適切に対応できるように、臨床学を学ぶ者にとって共通に必要な基礎科目、その基盤となる臨床心理学関連科目及び各現場の要請に応える応用的科目並びに実践的な科目でカリキュラムを編成しています。

｜臨床心理基礎科目群｜（基礎的学習領域）

臨床心理学特論Ⅰ
臨床心理学特論Ⅱ
臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）
臨床心理面接特論Ⅱ
臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）
臨床心理査定演習Ⅱ
心理療法特論
行動療法特論
力動的心理療法特論
投映法特論

｜臨床心理関連科目群｜（関連する学習領域）

心理学研究法特論
心理統計法特論
発達・学習心理学特論
家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）
社会病理・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）
教育心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）

｜臨床心理応用科目群｜（応用的学習領域）

健康心理学特論（心の健康教育に関する理論と実践）
精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）
心身医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）
障害児者・高齢者臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）
社会・産業組織心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）

｜臨床心理実践科目群｜（実践的学習領域）

臨床心理基礎実習
臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅰ）
心理実践実習Ⅱ
臨床心理実習Ⅱ

研究指導

（　）内は公認心理師関連科目
科目は2026年４月現在